

第25回木曾立音楽祭

小さな町の素敵な音楽祭

1999. 8. 19 ▶ 20 ▶ 21 ▶ 22



天狗岳より見た御岳 写真/久川淳弘

前夜祭コンサート

8月19日[木] 7時 福島中学校体育館

名曲コンサート

フェスティバルコンサート I

8月20日[金] 7時 木曾文化公園文化ホール

フランセ●ピヤホールの音楽「恋人に都合のよい時間」

モーツァルト●協奏交響曲 変ホ長調 K.364(弦楽六重奏版)

ニールセン●木管五重奏曲 op.43

フォーレ●ピアノ五重奏曲 第1番 ニ短調 op.89

フェスティバルコンサート II

8月21日[土] 7時 木曾文化公園文化ホール

モーツァルト●フルート四重奏曲 ハ長調 K.285b

シュポアー●大九重奏曲 ハ長調 op.31

ドホナーニ●六重奏曲 ハ長調 op.37

R.シュトラウス●メタモルフォーゼン(弦楽七重奏版・日本初演)

フェスティバルコンサート III

8月22日[日] 3時 木曾文化公園文化ホール

ベートーヴェン●木管八重奏曲 op.103

シューマン●ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44

バルトーク●弦楽のためのディヴェルティメント Sz 113

〔 曲目・出演者が変更になる場合がございます あらかじめご了承ください 〕

〔 未就学児の入場はお断り致します 〕

入場料

前夜祭コンサート(自由席)	大人	¥1,000	小・中学生	無料
フェスティバルコンサート(自由席)	大人	¥3,500	小・中学生	¥2,000
フェスティバルコンサート通し券	指定	¥10,000	(通し券は本音楽祭事務局のみの発売です)	

Violin	漆原啓子 加藤知子 久保陽子 小林美恵 鈴木理恵子 服部讓二
Viola	安藤裕子 市坪俊彦 菅沼準二 廣狩 亮
Violoncello	北本秀樹 花崎 薫 堀 了介 山本裕康
Contrabass	星 秀樹
Flute	佐久間由美子
Oboe	小畑善昭 古部賢一
Clarinet	磯部周平 山本正治
Fagott	前田信吉 吉田 将
Horn	松崎 裕 山本 真
Piano	寺嶋陸也 若林 顕
Director	山本正治 (50音順)

主 催 = 木曾音楽祭実行委員会・木曾福島町・木曾文化公園

後 援 = 信濃毎日新聞社 協 賛 = 日本製紙株式会社 企画制作 = 東京アーティスト

お問合せ・電話予約 = 木曾音楽祭事務局 0264(21)1222 / 東京アーティスト 03(3440)7571 / スタジオ・ルンデ 052(203)4188

プレイガイド = チケットぴあ東京 03(3237)9990・名古屋 052(320)9999 / 木曾文化公園 0264(23)8011 / 木曾郡内各書店

宿泊のお問合せ = 木曾音楽祭事務局 0264(21)1222

ホームページ <http://www.town.kisofukushima.nagano.jp/music.htm> music@town.kisofukushima.nagano.jp

人・自然・音楽

25年 — それぞれの夏

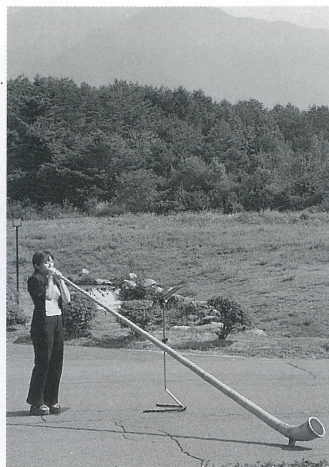
人口8,000人余りの小さな町で始まった木曽音楽祭も今年で25回目を迎えることになりました。

ひとことで25回と言いましてもこの4半世紀にはいろいろな事がありました。

この音楽祭は、木曽の自然と深い緑に魅せられた1人の若い弦楽器製作者飯田裕氏によって提唱され、著名なヴィオラ奏者、故ウィリアム・プリムローズ氏と、その趣旨に賛同した当時の木曽福島町長夫人、唐沢美喜さんによって花開きました。彼女は「木曽を日本のマールボロに」という理念のもと、「期間中、音楽家は同じものを食べ、起居を共にする」ということで、10回目まで、精神的、経済的な支えとなって、ひとつの時代を画しました。



しかし、第10回の開催は困難を極め、その後の存続が危ぶまれました。この意義深い音楽祭を是非とも続けなければ



ばという町民の熱意に動かされた当時の町長、中村英之氏は「町で引き継いでいこう」との英断を下しました。以来、今日まで、音楽家の意思を尊重する音楽祭として続けられてきました。

当初ディレクターには久保陽子、金昌国、小島葉子の3氏がなり、内容の充実にも努めてき

ましたが、第16回からは、数住岸子さんと私が代わってその大役を任されました。音楽祭の歴史を踏まえ、しかし、違った観点から、選曲、人選を行い、新たにひとつの時代を築くよう努力しました。

第16回の1990年には念願であった音楽ホールも完成し、リハーサルも演奏会場で行えるような環境が整いました。

しかし、当初からの理念であった食住の環境は変わることなく受け継がれ、町の多くのボランティアの人々によってつくられる朝夕の食事は、大変充実した素晴らしいものとして、我々を魅了し続けています。

2年前の1997年6月2日、ディレクターの1人であった数住岸子さんが病に冒されこの世を去ってしまいました。

数住さんは、この音楽祭をもっと多くの人に知ってもらおうと考え、当時のNHK名古屋放送局ディレクター梶吉洋一郎氏に話をし、テレビ収録のきっかけをつくりました。以後4回にわたり演奏会の模様が放送され、この小さな町の音楽祭に大きな反響を与えました。

小さな町で始まった小さな音楽祭が、世の中の景気に惑わされることなく、「自前」の音楽祭として、ボランティアと、それを支える木曽福島町などによって、最初の理念を忘れることなく、これからも長く続くことを願っております。

木曽音楽祭ディレクター 山本正治



8月19日[木] 7時 前夜祭コンサート

名曲コンサート

8月20日[金] 7時 フェスティバルコンサートⅠ

フランセ ● ピヤホールの音楽「恋人に都合のよい時間」
＜久保 小林 安藤 市坪 北本 寺嶋＞

モーツァルト ● 協奏交響曲 変ホ長調 K.364 (弦楽六重奏版)
＜漆原 鈴木 廣狩 安藤 花崎 山本裕＞

ニールセン ● 木管五重奏曲 op.43
＜佐久間 古部 山本正 吉田 松崎＞

フォーレ ● ピアノ五重奏曲 第1番 二短調 op.89
＜久保 服部 菅沼 堀 寺嶋＞

8月21日[土] 7時 フェスティバルコンサートⅡ

モーツァルト ● フルート四重奏曲 ハ長調 K.285b
＜佐久間 鈴木 市坪 堀＞

シュポアー ● 大九重奏曲 ヘ長調 op.31
＜佐久間 小畑 山本正 前田 松崎 服部 安藤 山本裕 星＞

ドホナーニ ● 六重奏曲 ハ長調 op.37
＜磯部 山本真 小林 廣狩 北本 若林＞

R.シストラウス ● メタモルフォーゼン (弦楽七重奏版・日本初演)
＜加藤 漆原 市坪 廣狩 北本 花崎 星＞

8月22日[日] 3時 フェスティバルコンサートⅢ

ベートーヴェン ● 木管八重奏曲 op.103
＜小畑 古部 山本正 磯部 前田 吉田 松崎 山本真＞

シューマン ● ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44
＜加藤 鈴木 菅沼 花崎 若林＞

バルトーク ● 弦楽のためのデヴィエルティメント Sz 113

●木曽音楽祭へは臨時バスをご利用ください。(大人400円 小人200円)

	木曽福島駅発	木曽文化公園着	木曽文化公園発	木曽福島駅着
8月20日(金) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月21日(土) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月22日(日) 15:00	14:00	14:30	17:00	17:30

(木曽福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後致します)